

4. 今後の課題

各学校毎の今後の課題について説明します。

(短期大学)

短期大学を取り巻く社会情勢が年々厳しくなる中、学生募集においても苦戦が続いております。美容総合学科の開設に関しては、いまだ世間に認知されていない面もあります。本学の魅力を最大限に伝えるべく、今後も取り組んでまいります。

進路状況には、2年間の教育の成果が反映されるといっても過言ではありません。そのため、美容総合学科最初の卒業生を社会に送り出す24年度の進路状況が、今後の美容総合学科の世間の評価となります。ゼミを通じたキャリア教育、インターンシップの実施等、本学にとって初めての取り組みになりましたが、教職員の指導・支援により一層拍車をかけるという良い連鎖を生み出しています。これらの経験を蓄積・分析することにより、本学の期養育が充実していくことが期待されます。いままで就職先が美容関連の業界に偏る傾向がありましたが、今後は就職先、更には進学先の幅が広がっていくことが予想されるため、企業、大学等の開拓も積極的に行っていく必要があります。

ボランティア活動や地域における活動については、年々依頼が増え、教員や学生に負担がかかる傾向にあります。今後はより効率的な活動が展開できるように担当部署を定め、日程、人員、予算、安全等を考慮して活動できるよう取り組みを進めてまいります。

教員の研究活動については、これまで以上に研究時間の確保及び予算的な問題等、厳しくなりますが、外部資金の獲得や教員の意識改革等、より積極的に研究活動を進められる体制の整備を進める必要があります。

(美容専門学校)

本学は、美容を通じて人々の健康・福祉に貢献する教育・研究を目指しており、伝統文化・社会生活の基本は、道徳や慣習を母体として発達するものです。76年間の教育を通じて、(1)教員の教育力の向上、(2)カリキュラムの改善、(3)学生サービスの向上、(4)経営基盤の強化、等々さまざまな課題を真摯に受け止め分析・検討し対策を講じてきました。特に、22年度から実施している新カリキュラムを履修した学生の新たな就職先の開拓、24年度から選択必修科目としてジェロントロジーが履修されることへの対応、また、国家試験の合格率向上のための試験対策など、課題は山積していますが教職員一丸となって改革・改善を目指します。

(医療専門学校)

平成15年に開校した山野医療専門学校は、平成24年度には記念すべき開校10周年を迎えることとなります。この間に、約300名の卒業生を輩出することとなりますが、毎年実施される柔道整復師国家試験の合格率は常に全国平均を下回っているのが現実です。また、教育内容の特徴として「美容柔整」をかかげておりますが、その具体的教育内容が系統的に研究されておらず、カリキュラムとしても十分展開されていません。こうしたことから、平成24年度は「開校10周年を迎えるに当たっての学校運営、教育内容の見直しと、次の新たな10年に向けての対策の年」と位置づけ、大切な節目の年とします。具体的には(1)教職員の刷新・増強・充実、(2)国家試験対応のための体制を強化し、柔道整復教育の徹底を図り、国家試験合格率100%をめざす、(3)キャリア支援の確立と強化:就職説明会の実施、同窓会組織を活用した就職経路の確立、卒業後の技術研修会・卒後教育の実施、卒業生の独立開業支援体制の確立、インターンシップ制度を確立して、即戦力となる生徒を確実に社会へ送り出す、(4)定員の確保、(5)カリキュラム、時間割の改定、(6)授業方法の研修:FD/SD研修会を開催して、より良い授業運営方法を研究し、教育現場に反映させる、(7)楽しい学校生活づくり:学校を勉学に励む場とすると同時に、部活・課外活動・スポーツ大会・遠足・親睦会などを積極的に企画してコミュニケーションを

図り、楽しい学校生活の場となるよう創意工夫する、(8)規律ある学校生活の徹底:医療人を目指すにふさわしい身なり、言動が取れるように挨拶・マナー・身だしなみ等の指導の徹底、(9)課外授業、課外活動の充実、(10)各種資格取得のための講座充実、(11)「美容柔整」概念の具体化:附属接骨院を美容柔整の実践の場として位置づけ、教育や研究体系の基盤を確立し、社会活動への普及、を目指していきます。

(日本語学校)

日本語学校としましては、以下の目標を掲げ努力していく所存です。

- ・日本留学試験の合格率を上げる。

更なる大学進学率を上げるためには日本留学試験の合格率を上げる必要があります、そのためにカリキュラムの見直し等の改善を実施します。

- ・基礎科目の充実。

更なる大学進学率を上げるためには基礎科目(数学や社会などの受験科目)などの教育に力を入れなければならない。特に受験に特化した授業内容に変更する必要があります。

- ・学生募集。

大震災の影響はいまだ残っていますが、定員320人を確保しなければなりません。3年間の学生募集目標は以下のとおりです。

年 月	学生数	備 考
平成23年10月	197人	
平成24年10月	230人	前年同月比1.2倍
平成25年10月	270人	前年同月比1.2倍
平成26年10月	320人	前年同月比1.2倍